

No Active. No Learning.

実践力のある ソーシャルワーカーを育てる「教授法」

【1日目】2018年 6月23日(土)

9:30 開場・受付開始

9:50～10:00 開会挨拶

10:00～17:00 授業設計ワークショップ

～アクティブラーニングの基本的考え方・半期の授業設計・1コマの授業設計～

講師：榊原暢久氏（芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター／工学部教授）

※持参を要する持ち物がございます。必ず裏面をご確認の上ご用意ください。

【2日目】2018年 6月24日(日)

9:30～12:30 パネルディスカッション

No Active No Learning

～アクティブなソーシャルワーク教育を展開・定着させるために～

13:20～16:20 【特別企画】大学院FD研修

会場：日本ソーシャルワーク教育学校連盟 研修室

東京都港区港南4丁目7-8 都漁連水産会館6階

【参加申込方法】

申込フォームへアクセスし、必要事項をご記入ください。

詳細・申込先 <http://www.jaswe.jp/zenkokukenshu.html>



【入金方法とキャンセルについて】

ご入力後に登録された電子メールアドレスへ参加費振込先等の詳細を送信致します。メール到着後5日以内又は2018年6月8日(金)のいずれか早いほうの日付までに指定口座にお振込みください。参加費の振り込みをもって申込が完了します(6月11日以降随時参加票を送付予定)。参加費振込後のキャンセルは原則受付いたしません。

【申し込み締切】 2018年6月8日(金) ※先着順・定員に達し次第締切

【参加費】 ソ教連会員校にご所属の方：15,000円 左記以外の方：20,000円

【定員】 100人

主催・問合せ先：



日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

Tel:03-5495-7242

E-mail:jimukyoku@jaswe.jp



No Active.No Learning.

ご好評を得た「教授法」研修を今年も開催します。

時代は多様化・複雑化する福祉課題に対応できる実践力のあるソーシャルワーカーを求めており、この実践力の開発・育成には、学生のアクティブで深い学びを引き出す教育力が不可欠です。資格課程において学生は膨大な量の知識を学習しなければなりません。それらを「実際に使える知」とするために、詰込み教育を脱したアクティブな教授法の展開が教員には求められています。また、社会福祉士の養成教育においては、アクティブラーニングの教育方法の活用が提言されており、導入への要請は強まっています。

これから本格的にアクティブラーニングを行いたい方やアクティブラーニングの基本を確認したい方から、授業のブラッシュアップを図りたい方まで、広く対応できるプログラムとなっております。皆様のご参加をお待ちしております。

Program 2018.6.23(sat) 1st day

9:30 開場・受付開始

9:50 ~ 10:00 開会挨拶

10:00 ~ 17:00 授業設計ワークショップ

～アクティブラーニングの基本的考え方・半期の授業設計・1コマの授業設計～

講師：榊原暢久氏（芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター／工学部教授）

アクティブラーニングの基本的考え方、半期（1科目16コマ）の授業設計、1コマの授業設計についてグループワークにて展開します。アクティブラーニングの基本的考え方・位置づけを確認し、その意義と手法を学び、具体的な授業設計までアクティブに学びます。

参加者へのお願い

本ワークショップでは、社会福祉士 / 精神保健福祉士課程（指定科目）の「講義科目」（演習・実習は除く）を素材として用います。当日参加時には必ずシラバスをご持参ください。

講義科目を担当されている方…担当している養成課程指定科目のうち講義系科目（1科目）のシラバス

講義科目を担当されていない方…ご自身の専門分野に近い講義科目のシラバス例

（勤務校の該当科目のシラバス、その他の公開されている該当科目のシラバス、厚生労働省の示す教育内容をもとに作成したシラバス案など）

※今回のワークショップの趣旨より、アクティブラーニングの導入が難しいと思われる科目（多くの知識の習得が求められる科目など）をお持ちいただくことをお勧めします。

講師 プロフィール

榊原 暢久氏（芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター／工学部 教授）

北海道教育大学（札幌校）小学校教員養成課程卒業。

北海道大学大学院理学研究科数学専攻博士課程単位取得退学。博士（理学）。

旭川工業高等専門学校助手・助教授、茨城大学工学部講師を経て、2007年度より

芝浦工業大学工学部准教授。

2009年4月より現職。ファカルティ・ディベロッパー、SDコーディネーター。

日本高等教育開発協会・理事。大学教育学会、日本数学教育学会等所属。



2018.6.24(sun) 2nd day

9:30 ~ 12:30 パネルディスカッション

No Active No Learning ～アクティブなソーシャルワーク教育を展開・定着させるために～
養成課程において効果的にALを展開するための仕組みとは？

フロアとのディスカッションを通して、アクティブなSW教育を展開・定着させるために必要なこと、できることを共に考える！

※企画詳細はホームページ（<http://www.jaswe.jp/zenkokukenshu.html>）をご確認ください。

13:20 ~ 16:20 【特別企画】大学院 FD 研修

「福祉系大学院カリキュラム GL の取組みの現状等に関するアンケートの結果報告」

「論文の二重投稿に関する課題についての情報提供」

「わたしの大学院での論文指導法～二木ゼミナール編～」

